



“エラ船型”で10%の省エネを!!

従来、拡大したボックス型のホールドを採用する場合には、船首部分が必然的に肥満型となり、大きな抵抗増加となっていました。しかし、“エラ船型”は抵抗増加を防止することにより、10%以上の省エネ効果が得られます。



“エラ船型” 特許第 2841171 号

命 山中造船株式会社

〒799-2110 愛媛県今治市波方町大浦甲 1531 番地の 1
事務所 TEL 0898-41-9114 (代表) FAX 0898-41-6176
設計・工務 TEL 0898-41-9888 (代表) FAX 0898-41-8999

この頁は、内航海運に関わる関係官庁・団体等の発表資料を掲載しています。

粗鋼生産15ヵ月連続増加

日本鉄鋼連盟が8月の鉄鋼生産概況発表 9月19日

日本鉄鋼連盟は9月19日、8月の鉄鋼生産概況を発表した。

それによると速報ベースで粗鋼生産は996.6万トンで前月比5.1万トン、0.5%減ながら前年同月比で3.7%増となり、前年同月比では15ヵ月連続の増加となった。8月としては、1974年(1,001.0万トン)に次ぐ過去2番目の水準となった。

これを品種別にみると、条鋼類が192.7万トンで前月比7.1%減(前年同月比0.3%増)、前年同月比では23ヵ月連続の増加となった。

鋼板類は519.0万トン、前月比1.3%減(前年同月比4.7%増)で、前年同月比では15ヵ月連続の増加となった。

主要品種の生産内訳をみると、最大のウエイトを占める広幅帯鋼が400.7万トン(前月比2.0%減、前年同月比5.3%増)と、前年同月比で15ヵ月連続で増加したほか、厚板も110.8万トン(同3.5%増、同5.5%増)と、前年同月比で10ヵ月連続の増加となった。一方、条鋼類では中小形形鋼(10.3万トン、同12.5%減、同14.6%減)が前年同月比で3ヵ月連続の減少となったものの、小形棒鋼が94.2万トン(同7.3%減、同0.4%増)、H形鋼が38.0万トン(同4.5%減、同1.1%増)と、共に前年同月比で23ヵ月連続の増加、大形形鋼(12.8万トン、同6.3%増、同8.8%増)が前年同月比で2ヵ月振りの増加となるなど、主要品種が前年を上回る水準で推移している。

添付資料：◎全国鉄鋼生産高 19年8月

全国鉄鋼生産高

(単位:1,000M/T)	2007年8月 (当月)			2007年7月 (前月)	2007年1月 ~ 2007年8月		2007年4月 ~ 2007年8月	
	生産高	前月比(%)	前年同月比 (%)		生産高	前年同期比 (%)	生産高	前年同期比 (%)
鉄	7,509.6	100.2	104.0	7,494.7	57,464.0	103.5	36,394.5	103.7
製鋼用鉄	7,459.1	100.2	103.8	7,447.2	57,157.4	103.5	36,173.3	103.7
鋳物用鉄	50.5	106.2	146.1	47.5	306.6	97.5	221.2	100.5
粗鋼	9,965.5	99.5	103.7	10,016.9	79,401.3	103.9	49,874.6	103.0
転炉鋼	7,694.5	101.6	105.0	7,575.1	58,969.6	104.1	37,114.8	103.7
電炉鋼	2,271.1	93.0	99.5	2,441.8	20,431.7	103.3	12,759.8	100.7
普通鋼鋼塊	7,844.5	99.8	104.2	7,858.4	61,857.4	104.0	39,046.7	103.1
特殊鋼鋼塊	2,076.1	98.2	101.2	2,115.2	17,197.5	103.3	10,608.1	102.2
鋳鋼鋳込	44.9	103.7	121.4	43.3	346.3	106.1	219.8	108.6
普通鋼合計	7,865.3	99.8	104.3	7,878.3	62,018.6	104.0	39,149.4	103.2
特殊鋼合計	2,100.2	98.2	101.4	2,138.6	17,382.7	103.3	10,725.2	102.2
熱間圧延鋼材合計	8,876.7	96.7	102.7	9,181.1	71,907.0	105.2	45,031.6	104.0

(参考)

- ・普通鋼熱間圧延鋼材
- ・特殊鋼熱間圧延鋼材

2007年7月分 (単位:M/T)
 販売高 4,702,836
 月末在庫高 2,688,009
 販売高 1,364,605
 月末在庫高 718,776

注) 四捨五入の関係で内訳の計と合計値は必ずしも一致しないことがあります。

全国鋼材生産高

(単位:1,000M/T)	2007年8月 (当月)			2007年7月 (前月)	2007年 1月 ~ 2007年8月		2007年 4月 ~ 2007年8月		
	生産高	前月比(%)	前年同月比 (%)		生産高	前年同期比(%)	生産高	前年同期比(%)	
普通鋼熱間圧延鋼材 (一般)	7,200.9	97.4	103.8	7,390.0	57,622.4	105.6	36,255.7	104.5	
軌条	重軌条	31.0	68.5	137.9	45.3	335.4	111.5	214.4	117.9
	軽軌条	3.2	64.8	83.7	5.0	31.2	101.1	18.7	94.1
鋼板	62.7	100.4	145.6	62.5	418.3	111.8	267.5	119.5	
形鋼	H形	379.6	95.5	101.1	397.4	3,210.1	112.4	2,032.6	109.3
	大形	128.1	106.3	108.8	120.6	1,042.5	103.0	658.9	103.9
	中小形	103.3	87.5	85.4	118.1	994.8	95.4	609.8	93.7
棒鋼	大形	30.7	70.9	82.4	43.3	342.3	107.7	209.1	103.1
	中形	52.2	98.2	98.2	53.2	438.4	96.9	273.2	99.4
	小形	942.1	92.7	100.4	1,016.8	8,100.7	103.3	5,182.8	102.5
管	77.1	151.2	141.7	51.0	462.0	100.4	291.1	102.0	
線材	バーインコイル	54.3	101.5	99.7	53.5	468.3	103.9	283.5	98.4
	普通	79.1	85.4	82.9	92.7	743.8	101.1	445.5	93.6
	低炭素	11.0	114.4	96.4	9.7	84.1	114.8	50.8	104.4
	高炭素	49.6	87.3	106.1	56.8	408.7	92.5	256.9	97.2
鋼板	厚板	1,107.8	103.5	105.5	1,070.7	8,505.8	107.3	5,329.5	109.5
	中板・薄板	14.6	86.2	81.7	17.0	133.3	97.7	81.6	94.1
広幅帯鋼	4,007.5	98.0	105.3	4,089.9	31,231.0	106.3	19,635.2	104.4	
帯鋼	59.7	74.0	71.6	80.6	621.9	93.2	381.3	89.3	
外輪	7.1	116.5	123.9	6.1	49.6	115.7	33.5	109.1	
特殊鋼熱間圧延鋼材	1,675.8	93.6	98.4	1,791.1	14,284.6	103.2	8,775.9	101.7	
普通鋼冷延広幅帯鋼	1,994.5	96.3	101.9	2,070.9	16,098.9	106.0	9,978.7	103.5	
普通鋼冷延鋼板	1.8	71.1	59.4	2.5	24.5	96.8	14.4	93.8	
冷延電気鋼帯	161.4	95.8	104.1	168.5	1,288.9	106.4	819.5	110.4	
ブリキ	89.0	109.6	104.5	81.2	655.7	102.9	412.3	99.9	
亜鉛めっき鋼板	1,259.8	97.0	107.4	1,298.2	10,071.4	109.6	6,288.9	108.3	
普通鋼鋼管 (熱間)	継目無鋼管	68.4	139.0	109.9	49.2	473.0	101.0	294.3	101.9
	溶接鋼管	417.4	92.3	100.1	452.0	3,454.7	106.8	2,159.5	106.2
	計	485.8	96.9	101.3	501.2	3,927.7	106.1	2,453.8	105.6
鑄鉄管	30.7	94.5	111.5	32.4	249.9	94.0	153.1	95.8	